

# 行政視察等報告書

令和2年2月19日

境港市議会  
議長 柗 康弘 様

会派名 きょうどう  
代表者 米村 一三



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	令和2年2月5日（水）～令和2年2月7日（金）
2 視察等先及び内容	3日間共に地方創生EXPOに参加 会場 千葉県・幕張メッセ □2月5日（第1日目） 講演 「真の地方創生と公共図書館の役割」 講師 早稲田大学教授・元総務大臣 片山善博氏 講演終了後、「観光インバウンド支援ゾーン」視察 □2月6日（第2日目） ①講演 「空の変革で加速する地方創生」 講師 Peach Aviation㈱執行役員 轟木一博氏 ②講演 「地方創生のさらなる飛躍に向けて」 講師 内閣官房 地方創生統括官 多田健一郎氏 ③講演 「小さな世界都市 豊岡市のインバウンド戦略」 講師 兵庫県豊岡市 市長 中貝 宗治氏 □2月7日（第3日目） 「スマートシティ推進ワールドゾーン」視察
3 視察等議員	米村一三、岡空研二、柗 康弘、平松謙治、森岡俊夫 ※柗議員は議長公務のため6日は別行動
4 総経費	合計（5名） 292,800円 （一人当たり 58,560円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所見等	別紙のとおり

## 今回の視察についての概要

第3回地方創生EXPOは、「ライブ・エンターテイメントEXPO」、「スポーツビジネス産業展」、「イベント総合EXPO」と幕張メッセの4・5・6・7ホールを使用しての同時開催であった。

今回の地方創生EXPOは、「ICT利活用推進ゾーン」、「移住定住推進ゾーン」、「観光インバウンドゾーン」、に加えて新たに「スマートシティ推進ワールドゾーン」で構成されていた。また、22のセミナーが開催されており、視察日程に合わせて4つのセミナーの受講と2つのテーマゾーンを重点的に視察行程とした。

## 受講したセミナーの報告

### 【2月5日(水) 第1日目】

内 容：「真の地方創生と公共図書館の役割」について

講 師：早稲田大学教授、元総務大臣、元鳥取県知事 片山 善博氏

#### ○現在までの地方創生政策について

地方の人口減少の状況の実態を中央省庁職員が理解していない。更に研究をし、政策の変更が必要である。

産業、観光、インバウンド等の研究を進めるうえで、地域の図書館が果たす役割は大きい。そのような観点で、地域の歴史、文化、古地図等情報を公共図書館に、重要なデータとして保存することが図書館の果たす役割の最も重要なものである。

近年、公共図書館を指定管理者に丸投げしているケースが見られるが、賛成できない。また、図書館に勤務する司書の待遇を改善することが喫緊の課題である。地方創生の拠点図書館にあるといっても過言ではない。

#### ○考察

市民交流センター内にも図書館もできるが、地域にとって重要な役割を果たせるよう、管理運営をしっかりと考えいく必要があると感じた。

また、担当職員の充実のため、雇用条件の改善を図るのも必要である。

(報告者 岡空 研二)

### 【2月6日(木) 第2日目】

内 容：「空の変革で加速する地方創生」について

講 師：Peach Aviation(株) 執行役員 事業戦略室長 轟木 一博氏

#### ○LCC事業の概念

Peach Aviation 航空は、2008年1月、全日空(ANA)内に戦略室が設けられ、バニラ航空との統合を機に交流人口を通じて地方の活性化を図ることを目的として設立された。LCC事業を展開するにあたり、航空機による旅行を高級志向から「空飛ぶ電車」として手軽な移動手段として旅行を楽しめる戦略を明確化し、安い航空運賃を実現するために徹底したコスト削減を実施した。

## ○Peach Aviation の実績

国内線 21 路線、国際線 18 路線の 1 日 140 便。就航率 99%、搭乗率は 87.8%。外国人比率は 70%以上を誇り、これまでに 3000 万人の外国人を地方に送り込んだ実績がある。

## ○Peach Aviation の戦略

- ① 高価格の「特別」な移動から手軽な「普通」の移動を実現することで、移動の中から経済消費を生み出すよう、外国人個人観光客をターゲットに日本（地方）の魅力を 30 万人のフォロワーを抱える 4 人の外国人インフルエンサーにより SNS 発信。
- ② インバウンド客の口コミでその輪が広がり、20～30 代の女性を中心に利用者を増やしていった。
- ③ 日本人では気づかない外国人目線での思いがけない魅力を体験型コンテンツと組み合わせ、広域的（県境を意識しない）な魅力として積極的にアピール。
- ④ ABC 放送のドラマ制作に Peach Aviation を取り入れる。

## ○今後の展開

成田空港・関西国際空港から地方空港を結ぶ Peach Aviation は、地域と一緒にあって、外国人インバウンド客を誘致するにあたっては、地方の魅力を若い世代、家族等の横のつながり重視しながら、多言語対応などのニーズに対応し、旅行者が使いやすい商品開発等を通じて町おこしのお手伝いをするスタンスで取り組んでいく。

（具体例）

### ① 国内向け誘客展開

PeachLIVE コンテンツ・・・現地の魅力を記事コンテンツ化して、新たな旅のスタイルを提供・・・ABC テレビ動画制作（旅サラダ Etc.）・・・ウェブ配信、メルマガ（会員 500 万人）

### ② 著名インフルエンサーによる誘客展開（台湾・国内）・・・YouTube、SNS

### ③ 上記の動画を活用して、アジア～関空～LOCAL を近づける（bridging asia）戦略を展開。

## ○考察

境港市も Peach 航空戦略を活用し、外国人誘客が可能であると思う。羽田便だけではなく、成田、関空便の開設も視野に入れる必要があるのではないかと。

（報告者 平松 謙治）

内 容： 「地方創生のさらなる飛躍に向けて

～第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中心に～」

講 師： 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

地方創生総括官補 多田健一郎 氏

## ○現況

地方の若者の就業率、農林水産物の輸出額・訪日外国人旅行者数は、増加傾向にあり、一定の評価が出来る。地方創生の最大の目的は「地方の人口減少対策」「首都圏への流入抑制」であるが、首都圏への流入人口について 10 代は頭打ち、20 代は増加傾向にあり、更なる取り組みが必要。

## ○第2期の内容

第1期にプラス $\alpha$ として近い将来発生するであろう首都直下地震も想定したものになっている。※「東京圏への一極集中」の是正

これまでも行ってきた「地域への移住・定住の促進」、そして地方とのつながりを強化するために「関係人口の創出と拡大」、「企業板ふるさと納税の拡充」する。横断的な目標として「地方創生 SDGs の実現など持続可能なまちづくり」「多様な人材の活躍の推進」

## ○考察

本市において最初の総合戦略を立てた時、地方創生の交付金により、原状の課題に対応出来るとただ喜んでいた。それはそれで間違った事では無いが、今後の総合戦略では、より独自性と結果が求められてくる。如何に市民の求める未来像を具体的な施策として示し、実行していくか自治体（組織・職員）の能力が試されると感じた。

（報告者 平松 謙治）

内 容：「小さな世界都市 豊岡市のインバウンド戦略とは」

講 師： 豊岡市長 中貝 宗治氏

## ○内容

豊岡市がインバウンド対策を強化した背景は、人口減が大きな要因となっている。人口減の現象をデータでもって分析した結果、20歳までの進学、就職時にはその年代の80%が転出するが、大学を卒業し就職する年代となっても40%程度しか帰郷しない。その人達を引き付けるには「突き抜けた豊岡で暮す価値」を作ることと決定し、次の3つの目標を設定した。

### 1. 豊岡エコバレーを目指す コウノトリが住むまちづくり

コウノトリが住み着くよう農薬消毒を極力控え、かつての自然のままの豊岡を目指したまちづくりを徹底した結果、豊岡市で作ったコメが海外で高い評価を得て、米国で1キログラム2,000円の高値で販売できている

### 2. 深さを持った演劇のまち 劇作家平田オリザとの連携

城崎温泉にあった古い芝居小屋を再生した結果、歌舞伎などの公演が行われており、多くの観光客の注目を浴びるようになった。

並行して、平田オリザ氏に指導を頂き演劇を定期的開催することが世界各地から演劇関係者やファンを呼び込み、結果として、古い建物を再生した「アーティストインレジデンス」を生み出し、演劇を目指す人に提供している。世界各地から利用の申し込みが来ているとのことである。

### 3. インバウンドの促進 城崎温泉の建物・おもてなし面でのリニューアル

インバウンドのターゲットについて、海外メディアを活用して行っており、結果として欧米人の観光客が多くなっている。来訪者へのサービス提供を、その中心となる城崎温泉関係者が協議の上、極力温泉宿からまちへ出て城崎温泉全体を楽しんで貰うことを徹底している。自分の宿ですべてを完結しようとしないう姿勢が町の活性化につながっている。

## ○所見

マスコミが外国人観光客を6年間で45倍にしたと称賛する、豊岡市のインバウンド戦略について、直接の責任者である中貝市長より聞くことができたのは大きな収穫であった。

インバウンド戦略を推進するにあたって、ターゲットの選定、パブリシティの活用、有能な人材の登用、そして何よりも地域の人々への説得を密に行い、地域活性化に志のある人々が参画して頂けるような熱意が感じられた。

(報告者 米村 一三)

---

### 視察した展示ゾーンの報告

#### 【2月5日(水) 観光・インバウンド支援ゾーンを視察】

・阪急交通社・カケハシスカイソリューションズ・エアサーブ・日本航空等、旅行を通じた地域連携で地域活性化を支援している企業ブースを訪問した。

##### ◆阪急交通社

2016年から鹿児島県長島町役場の中に支店を設け、地域密着による観光モデルで観光客の誘致に成功。取り組みの一例として、ご当地映画「夕陽のあと」を地元自治体×漁協×地元企業×旅行会社の連携で企画し、長島町の美しい風景と地元の食(鯛王)を味わう旅行ツアーを実施するなど新たな需要を創出した。そのほか、地方空港の新規就航キャンペーンで国内旅行者の誘客活動・ヨーロッパからのインバウンド誘致活動の開発など旅行をキーワードに地域活性化に繋げていた。

##### ◆カケハシスカイソリューションズ

地方が抱える人材不足問題を支援して地域活性化に取り組んでおり、一例として外国人技能実習生受け入れに対するサポートで地方を元気にする活動を行っており、外国人ユーチューバー動画の配信を通じて日本各地の魅力を発信・PRしており、鳥取県のPR動画も手掛けている。

##### ◆エアサーブ

地方の行政・企業・店舗向けに翻訳機を斡旋することで外国人とのコミュニケーションを円滑にするサービスや観光ガイドング通信機などの提供を通じてインバウンド支援を行っている。

##### ◆日本航空

国内向けとして「ふるさと応援割り」やアニメツアーリズム、航空券+ホテルのダイナミックパッケージ(インバウンド外国人向け)、機内プロモーションで地方の紹介など地域の活性化に様々な取り組みを行っている。

山陰インバウンド機構とも連携して山陰の魅力をプロガーやウェブ配信の発信を通じてインバウンドキャンペーンを実施しており、誘客プロモーションで地域とともに地方創生に尽力している。

日本航空グローバル販売部丸山貴史マネージャーに米子鬼太郎空港と出雲縁結び空港のダブルトラッキング化の問題を伺ったところ、競合他社との兼ね合いでお互いに話し合いができるかどうかは鍵となる。また、岡山空港、広島空港は、JR新幹線との競争なので料金体系も多岐にわたって格安チケットなど販売されているようだ。山陰の空

港は JR との競合がないので、今のところ過度なサービス合戦にはなっていないが、将来「山陰新幹線」などの整備が進めば、ダブルトラッキングや格安チケットなど消費者にとって好ましいサービスが提供されるのではないかとの意見交換をさせてもらった。  
★全国の地方空港の観光・インバウンド対策は、地方創生の重要なツールであることから、地方自治体と連携する企業の競争激化を痛感した。境港市においても、米子鬼太郎空港の国内路線の拡充（成田・関空直行便等）や大型船クルーズインバウンド対策の強化を行わなければ激化する競争には勝てないように感じた。鹿児島県長島町に見られたように庁舎内にエージェント事務所を誘致するなど民間企業とのさらなる連携強化の必要性を感じた。

（報告者 森岡 俊夫）

### 【2月7日（金） スマートシティ推進ワールドゾーンを視察】

このゾーンには、NEC・KDDI・NTT・清水建設・WILLER など 10 の企業が出店しており、スマートシティを目指す自治体などへの情報提供を行っている。各社が持つ技術によるスマートシティ推進へのデモンストレーションが行われている。

例を挙げると、KDDI のコーナーではシェアード・モビリティ・ネットワークス社製作の電動バイクと電動自動車のデモンストレーションが行われていた。排気ガスによる環境負荷や騒音、交通渋滞、駐車場の確保など都市の抱える課題を軽減する仕組みの提案である。

#### ○地域コミュニティの移動手段として

1. 駅や市役所、商業施設などの公共性の高い場所にステーションを置いて自動車などを保有していない人にも移動手段を提供する方法。
2. 公共交通機関のない、または少ないエリアの交通環境の改善を行う。

#### ○観光振興の施策として

1. 地域の風景に触れ魅力を発見する体験型の移動手段と使い、観光客の満足度を高める。
2. ステーションを観光ルートに適宜配置することにより回遊型観光ルートを構築し、集客を図ることができる。
3. 省エネ、省コスト、低騒音の環境で優しい交通イメージが観光地としての好感度をアップすることになる。

以上、1社の提案を紹介したが、各企業から未来を先取りするような提案がされていた。自治体職員も業務上のスキルアップのため、このような EXPO を体験することが有効であると感じた。

（報告者 米村 一三）